

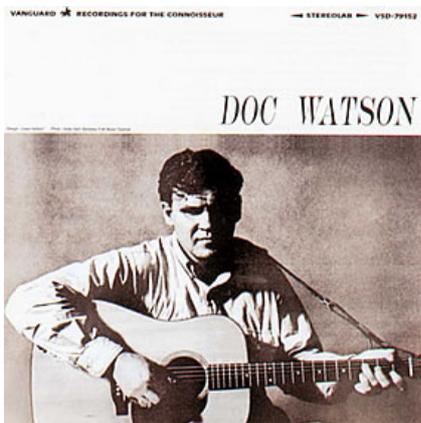
 enokojima creates osaka <b>enoco</b> 大阪府立 江之子島文化芸術創造センター	enocoについて ABOUT ▼	フロアガイド FLOOR GUIDE ▼	enocoのつかいかた HOW TO USE ▼	空き状況 AVAILABILITY ▼	アクセス ACCESS ▼	プラットフォーム 形成支援事業 PLATFORM >
	クリエイティブルーム 入居者募集 CREATIVE ROOM ▼	サポーター募集 SUPPORTER ▼	メールニュース登録 MAIL NEWS ▼	Q & A Q&A ▼	お問い合わせ INQUIRY ▼	大阪府20世紀 美術コレクション COLLECTION >

ワークショップ 6.2

## GrassRoots music workshop ドックの日

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [GrassRoots music workshop ドックの日](#)

このページの情報は、終了した事業に関するものです。



昨年5月29日に亡くなったドック・ワトソン(1923-2012)の一周忌から4日後「みんなでギターを持って集まろう!」という企画。

アコースティック・ギターの発展に多大な貢献をした偉人を偲んで、鮫島敏明氏、大野普靖氏らとともに午後2時から6時までの4時間タップリ、ドックやギターの話、フォークやブルース、アーリージャズやブギウギ、ブルーグラスやドカ(ロカ)ビリーなどのジャムセッションをしようという企画です。

アコギファンのお父さんやお母さんはもちろん、保護者の皆さんには、「ロックや和製フォークを楽しんでいるお子さんたちに、あたらしいギターの楽しみ方を見せるチャンス!？」かもしれません。

ちょっとだけ周囲の若者たちの背中を押してあげませんか？

企画：小島 剛 (NPO大阪アーツアボリア)

日時：2013年6月2(日)

14:00-18:00

会場：江之子島文化芸術創造センター 地下1F ルーム5、カフェスペース

料金：1,000円(学生500円、高校生以下無料)※事前申込不要

出演者：ファシリテーター：渡辺三郎

内容：14:00-15:30 ドック・ワトソン・ワークショップ

15:30-16:00 地下1Fカフェcircleにてtea break(飲食代は各自をお願いします)

16:00-17:30 参加者全員によるドック追悼演奏会

主催：GrassRoots music workshop

共催：大阪府立 江之子島文化芸術創造センター

問い合わせ先：Grassroots Music Workshop 渡辺三郎

fiddleandbanjo@nifty.com

## 出演者プロフィール

渡辺三郎(ギター、バンジョー、フィドル)



1949年兵庫県宝塚市生まれ。

1983年創刊の月刊ブルーグラス・ジャーナル『ムーンシャイナー』誌編集長。

1971年、ブルーグラス45のバンジョー奏者として全米ツアーを行う。帰国後、ブルーグラスとオールドタイム音楽を専門にしたレコード通販「B.O.M.サービス」とインディーズレーベル「レッド・クレイ・レコード」を創立。トニー・ライスのデビュー作をはじめ日米ブルーグラス・アーティストの紹介に努める。

1972年から野外ブルーグラス・フェスティバル「宝塚ブルーグラス・フェス」を開始し、現在ブルーグラス・フェスとしては世界で三番目に古い歴史を誇る。

1983年から専門月刊誌『ムーンシャイナー』を発行。

1995年にIBMA(国際ブルーグラス音楽協会)から生涯功労賞を贈られる。

1996年から5年間、テネシー州ナッシュビルのIBMA理事。

1998年度『ムーンシャイナー誌』の発行でIBMA最優秀ブルーグラス出版人賞を受賞している。

1970年代からブルーグラス・バンドのほか、数々のロック/ニューミュージック系のスタジオセッションでも活躍、またビル・モンロー&ブルー・グラス・ボーイズやザ・チーフタンズなどの共演をはじめ、バンジョー、フィドル、ギター等をこなすマルチ・アコースティック・プレイヤーでもある。

[GrassRoots Music Workshop](#)

サイトポリシー	> enocoについて	> クリエイティブルーム	> enocoのプロジェクト	ツイート	^
指定管理者	> フロアガイド	> サポーター募集	> enocoの学校		
バナー広告募集	> enocoのつかい方	> メールニュース登録	> 大阪府20世紀コレクション		
プレスリリース	> 空き状況	> Q&A	> ライブラリー		
	> アクセス	> お問い合わせ	> サポーターものづくりルーム		
		> プラットフォーム 形成支援事業			